婦人新報

十一月號

第二百二十號

婦人新報第二百二十號目次

奉祝の眞意　矢島楫子
男女間の新道德　浮田和民
藝妓問題に對する謬見　安部磯雄
目ざましき貴國婦人の活動　ミス、ウヰルソン
母の立場から見た大典記念運動　杉本鉞子
手輕西洋料理　岩村安子
聖母　安中花子
雜詠　北見くら子
堀り出し物バザーの記　守屋東子
各地通信
本部、東京聯合支部委員會、吳、北海道札幌、弘前、小石川、麴町、同志社女學校
編輯室より　エー、エム

基督教婦人矯風會

379

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小兒科
鷲山改め
女醫 吉岡彌生
△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後
產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず
東京市麴町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價（郵稅共）
一部（前金）金六錢
六部（前金）金三十五錢
十二部（前金）金七十錢
（郵券代用一割增）
◎廣告料
一行（五號活字）金十錢
編輯及事務所 赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 電話新橋一〇三六

大正四年十月廿六日印刷
大正四年十月廿八日發行
發行兼印刷人 矢島作
編輯人 高原學
發行所 婦人新報社 東京赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所
印刷所 丸利印刷所 東京神田鎌倉河岸

No. 220. NOVEMBER. 1915.

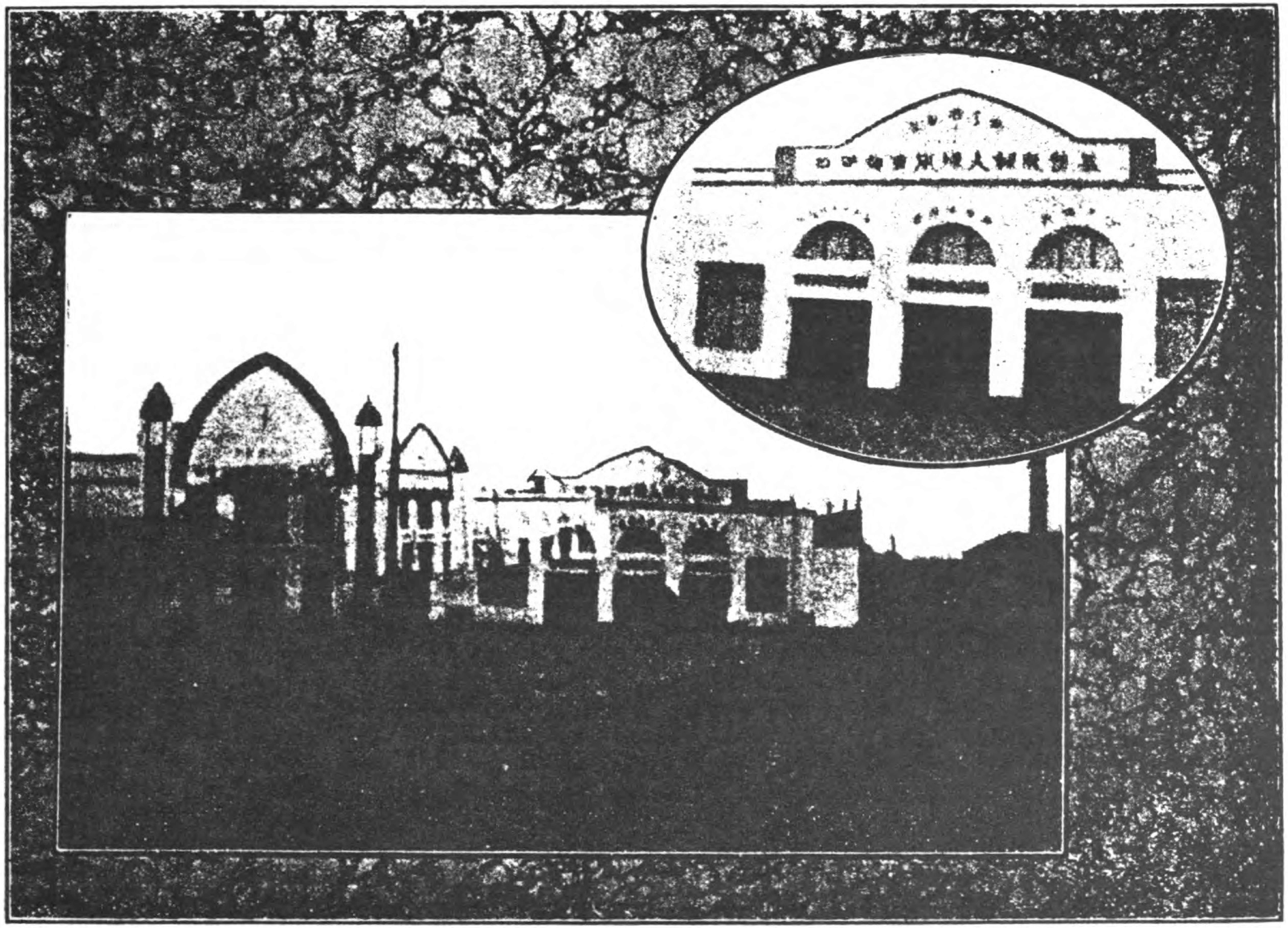
WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

Sincerity in regard to the Coronation...Madam Yajima.
The New Standard of Morality...............Dr. W. Ukita.
Errors regarding the Geisha Question.......Prof. I. Abe.
The Coronation Work of the Japan W. C. T. U.
Miss Florence Wilson.
The Work for the Coronation from the Mothers' Stand-point..............................Mrs. Etsu Sugimoto.
Simple Foreign Cooking................Miss Yasu Iwamura.
A Madonna......................................Miss Hana Annaka.
Miscellaneous Paetry........................Miss Kura Kitami.
The Rummage Sale.....................Miss Azuma Moriya.
Reports;—
Headquarters, Kure, Sapporo. Hirosaki. Kojimachi.
Committee Meeting of the Tokyo Branch Unions.
A Message from the Editorial Room................A. M.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



京都に於ける基督教傳道館(右)と矯風會接待所(左)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奉祝の眞意

矢島楫子

△神代ながらの清淨の心もて

御大典を迎ふるに當り、謹みて　陛下の御代の萬歲を祈り、國運の益々隆盛に赴かんことを希うて止みませぬ。私共はこの日最も清淨無垢の心を以て、熱誠をこめて皇國の爲めに祈らねばならぬと存じます。人々の內心の清淨は外にあらはれて、國中擧つてさながら神代ながらの靜肅に返つて、この日を送りたいと存じます。

元來祝ふと云ふと、直ちに酒色に溺れんとする傾きのあるのは、今日の弊風であります。この大正の御代の始めには、少くともこの弊風から逃れたいと存じまして、私共は過る數ヶ月の間熱心に世の廓淸に向つて叫び、或は國家顯要の地位にある人々を訪れて、その意見を叩き、或は東西に奔走して、その主義の宣傳に務めました。今日に至つてはこの働きの決して無益ならぬを示す現象が諸所にあらはれて參り、御大典奉祝の中心地たる京都に於ても、公會の席上には上流の貴婦人達が出でゝ客を接待する事になり、其の他各地に餘り挑發的の催しが企てられぬ事となりましたのは誠に喜ばしい極みでございます。

△政治上にあらはれたる光明

次に私は今日の政治家の間に、清廉なる心を以て、一意國家に奉公せんとする遣り口の次第に現はれて參つた事を、限りなく嬉しく覺えます。その一例を申せ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ば、過般東京市の緊縮案が通過して、吏員の大淘汰の行はれた際に、奥田市長は一萬圓の年俸の中、三千圓の減俸を申し出てゝ、自ら範を一般に示しました。これは理想の政治家からは、或に消極の誘りはあつても今日の我が國家の狀態としては、誠に必要な事であらうと思はれます。今日迄當局にあつて嘗てさういふ事をした覺えがありませんが、この模範は必ず吏員の奉公犧牲の精神を振起し、延いて一般の社會に勤儉の美風を漲らす幾分の力ともなりませうと存じます。申す迄もなく、國の富力は今後の日本の、最も心して養はねばならぬ處で、有害無益な酒や煙草一つでも、先づこれを驅逐し、追つて百般の浪費を省く工夫を致したら、どれほどその效果は大なるものであるかも分りませぬ。これは殊に一般の御婦人方の協力して務めねばなら處であると存じます。

△祈りは實行の初め

この頃私のひどく感じた言葉があります。或る田舍の牧師の方が上京の序を以て、私の處をお尋ね下され、何か字を書いて下されとのお賴みで、いろ〳〵望みの言葉を携へてお出でになりました。その言葉の中に「祈りは實行の始め」と云ふのがありましたが、誠に面白い言葉で、事の成行を見ますと、事實さうであります。丁度私共基督者の今日と符節を合はして居ると存じます。愈以て卽位式を擧行し給ふ時、我が宗敎團體は天皇陛下に聖書を獻上しようといふので、獻金を募つた處、立所に其の資を得て、貳百圓で箱に水引迄かけて、既に立派な聖書を整へる事が出來ましたが、婦人の方もこれと同樣 皇后陛下に獻上しようとて獻金し、少々の不足の資は、男子の方の殘額を以て補ひ、同じやうに立派なものが出來、二つの聖書は獻上する迄、小崎牧師夫妻が大切にお預りして居ることになりました。明治二十四年初めて 先帝陛下に信者の群れが聖書獻上を企てた時は、何しろ庶民から皇室に物を獻上するのは容易ならぬ事として、世話をしてくれてが無く、人民のお取次は知事公がすればよい

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と云ふので、某縣の知事に泣き付き、漸く天長の佳節を期して、差上げたは上げたが、その先きは分らぬといふ有樣でありました。然し今度は差上げる手順も容易になり、御嘉納あらせらるゝ有難き御諚を承るも必定と思つて居ります。恰もよし、米國にあつて常に日本文明の爲めに貢獻せられて居るストーチ博士は、同國の基督教界を代表して、英語の聖書を差上げる爲めに態々來朝し、過般既に參內して、親しく御手許に差上げたのであります。同博士はこの使命を果すと共に直ちに朝鮮に赴かれ、再び御大典を期して內地に歸らるゝ筈であります。同博士が獻上した聖書は二千圓もかゝつたと云ふ結構を極めたものでありますが、私共が獻上する邦字聖書と相俟つて、どれ程御便宜なものであらうかと拜察されます。

△初めて婦人の祈禱會起る

かやうに今昔の事を繰り返へして見ますと、今更らの如く私共の皇室に對する觀念の異つて參つた事を有難いことに思はれます。私は明治十三年に信者となつて、それ以來心おきなく西洋人と交際するやうにもなつて、泰西の文華にも常に接觸して參りました。そして神を知らない前は、唯皇室と申すと考へても恐れ多いやうに覺えましたが、其の後は神の御支配のもとに一國の主權を握り給ふ皇室の尊嚴と共に、云ひ知れぬ御親しみを覺ゆる樣になりました。一天萬乘の君にはその輝かしき御位と共に、どれ程の御辛勞を嘗めさせ給ふであらう。私共が聖書によつて始めてこの世の安心立命を得て愉快であつたが、陛下に於かせられてももし神と共に一國を統べ給ふやうにならば、どれ程の御心安さであらう、どうかその神ある事をお知らせ申したいといふ希願は、眞實に朝夕の祈りに繰り返へされました。丁度私の信者になつた時、そろ〳〵聖書の日本譯が出來始めて、全部揃つたのは、明治二十年でありました。その前明治十六年に宗教界の大會があり、一般の信者は傍聽する事が出來るといふので、私共は毎日毎日出席して居りました處、ツルー夫人とい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふ方が「かやうに私共が毎日傍聽に出ても餘り利益にもなるまいと思ふが、その時間で、退いて有志が集り祈禱會をしたらば、一層有益であらう」と申出され、忽ち一同賛成して、あの教會この教會の婦人を招いて祈禱會を初めたのが、抑もの初めでありました。次にこの會を春秋の二期に定め、横濱東京の婦人を一緒に集めて京濱婦人祈禱會とし、春五月は横濱で開き、秋十月には東京で開かうと云ふ事にきまりました。

△我が皇室國家の爲めに祈る

この京濱婦人祈禱會で最初に約束した事は、我が天皇、皇后兩陛下が、萬能の神を知ろしめし給ふやうにと云ふ事を初めとし、國會の爲め、その他國家の重大事件の爲めに祈つたのでありました。「祈りは實行の始め」といふ言葉の如く、果してこれ等の祈禱の中からいろ〳〵實行にあらはれて參つたものも尠くはありません。殊に　兩陛下が信仰を得させ給ふやうにとの祈りは、一般の信徒が毎朝五時から三十分間祈ることときめ、長く續けて居る中に、明治二十四年の聖書獻上といふ擧が起つて來たのであります。また天長節は國民擧つて祝日として祝ひ樂しむにも拘らず、當時は地久節といふものは無かつたので、これは誠に殘念な事であるから、信者は率先してその祝賀會を開かうではないかといふのが初まりで、今日一般に地久節をも祝賀する事になつたのであります。

祈りはその當時の人の架空のやうに思ふ事でも、聖旨に叶はゞ、必ず實行に擧るものである事は、私共の短い歷史に於ても明らかであります。今日御大典をいと淸らかに奉祝する爲め、私共は熱誠を籠めて祈り、大にその效果の擧るのを見ます。國家の前途に愈よ祝福の下るやう、心を罩めてまた更らに祈ることが、奉祝の眞意であらうと思はれます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女間の新道德

法學博士　浮田和民

△男女交際の歷史

男女の交際は、日本に於ては天の岩戸の古より、西洋の傳說に依ればアダム、イブがイデンの花園に生活した頃からの事で隨分古いものである。聖書などに依ると人類は紀元四千餘年前からのものであるかの如く書かれてゐるが、今日の學術の論證する處によると人類の初まりは十萬年から五十萬年も昔にあつたと云ひ得るのである。然るに人間の進步は遲いもので今日に至るも猶ほ完全なる男女交際と云ふものがない。而かも西洋と東洋では男女交際の歷史が非常に違つてゐる今日東洋人と西洋人と意思の疏通せぬと云ふのも、兩洋人の間に男女間の道德的標準が甚だしく違ふからであるとも言へる。

△戀愛を知らざる國民

日本では伊丹那岐伊諾那美命、天照大神の頃から男女交際を認めてゐたが、漸々近世になるに連れて極端な男尊女卑に傾いて來た。德川時代には女子の自由と云ふものは全く認められず、此前は女子の家督相續を許されてたが此時代から許されなくなつた。上代に於ては女は兩親の家に居たから男は女の家に通ふたものである。そこで眞の戀歌なども多く歌はれたのであるが、漸々近世になると眞に戀愛する男がなくなつて來たから考へて戀歌を作るやうになつたのだ。かゝる男女の關係は男性的道德武士的道德を築き上げるには

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

必要であつたに違ひない。武士たるものは婦女子と戀愛などしては眞の武士になれぬと思ばれてゐたのである。男女間の戀愛は打破されて終つたのである。實に日本人は例外もあらうが、一般に戀愛を知らざる國民である。

△西洋人の戀愛崇拜

然らば西洋では如何であつたか。野蠻時代は男女等しく戰爭をした位で早くから男女同等の思想があつたが、中世クリスト教が展まるに隨つて益々男も女も道德上平等であると云ふ思想が堅められたのであつた。而かも中世に於ける西洋武士道の一ケ條には武士は僧侶と女子を助けなければならぬと云ふ不文の信條があつたのである。であるから彼等が戰場に立つて功名を爲さんとする時には頭に君主を戴いてゐたと共に心の中に戀人を想つてゐたのである。歐洲中世の武士は上君主に仕へると共に心に戀人あらば現在未來また何も心配はないとされたものであつた。かく戀愛を崇拜する結果普通の道德上から云へば夫婦以外の多くの女と姦通し多くの男を持つと云ふ事は甚だ批難さるべき事であるにも拘らず、戀愛の結果夫婦外に關係が出來た場合には許されてゐたのが、中世の歐洲人であつた。今日の文明諸國ではかゝる思想を排斥するけれども、之れに同情は持つてゐるのである。

△ネルソンの私生兒

ネルソンと云へばトラフアルガーの海戰に非常に名譽な戰死を遂げた英國の大提督である。此ネルソンの遺言を見ると驚くべき事がある。それはネルソンは女房の外に時の外交官ハミルトンと云ふ人の夫人と淺からぬ關係があつて私生兒まで產ましめた事である。彼が英國民に遺すものは此私生兒であると云つてゐるのである。また英國に於ける大人物——丁度我福澤先生の如き信望のあつた彼のジョンスチユアートミルは彼が二十四五歲の時、紳士テロールと云ふ人の夫人と相思の中となり毎週一度彼女と相見ゆるを以て此上なき

幸福としてゐたのである。テロールと云ふ人も變つた男で夫人とミルとの戀愛の情は到底裂く能はぬものと見るや其交際を許し、一週一日夫人とミルと相語るの機會を與へたのであつた。

△大學者ミルの戀

かゝる事は日本ではビックリする如く、西洋でも驚くべき事なのである。ミルの父母の心配は非常なものであつたが、ミルはテロール夫人の如き立派なる婦人でなければ一生結婚せぬと覺悟してゐた位だから、終に之れが爲めに母とミルとの交は斷たれた位であつたけれども英國の社會はミルの人格を知るが故に之れを問題ともしなかつた。彼は決して他人の妻と相姦する如き人物でないと認めてゐたのである。かくミルは五十近くまで獨身で暮し專心學問の爲めに盡したが圖らずもテロール氏の死に遇ひ、一ケ年の喪に服した後二十餘年來の精神的の戀人たる夫人と結婚したのであつた。同棲七年間夫人の逝くや佛蘭西南部の地に夫人の墓を作り、其傍に一生を終つたと云ふのである。ミル死して既に三四十年になるが、彼がテ夫人との戀愛について批難したものとてはなかつた。漸くこの數年來問題にして論ずるものが出た位なものである。

△戀愛から結婚へ

これ等は極端な例であるが西洋にはかくの如く歷史的思潮があつて、日本の道德的標準と違ふ事を知るのである。私は斯くの如き戀愛を日本人に鼓吹するのではないが、日本人の如く戀愛を撲滅し無視し來りたる國民は宜しく之れを復活させねばならぬ。而し乍ら神代や萬葉時代の形ではいかぬ、時勢に適應したものでなければならぬ。其れは何であるかと云へば夫婦關係を戀愛關係にするのである。妻君を以て宿屋のお神の如く心得、夫を以て飯を食はしてくれる番頭の如く見てゐるとしか思はれぬ夫婦關係は慥かに不道德であるそこで近來の如うに法律や經濟の關係から成立つものでない、戀愛に依つて夫婦となるやうにせなければい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かぬ。少くとも戀愛し得るや否やを定めて後結婚すべきである。互に一生涯戀愛し得る位てなければ結婚せぬ位の考を持つてゐてほしいものである。

△藝娼妓ある所

日本の今日の狀態は如何であるか。北米カリホルニヤにある日本人は寫眞結婚とか云ふもので多くの悲喜劇を演出してゐる。日本の現在社會では戀愛結婚は却々出來ない事情の下にある。甚だしきは一度も見た事のない者と結婚させられ、或は見合と云つて一寸顏を見合ふ事があつても、女の方では男の顏を見なかつたなど云ふのが普通である。かくの如き社會に於て戀愛結婚など望まれぬのである。寧ろ下等社會の方が中上流社會よりは戀愛結婚に近い結婚をしてゐる。であるから何うしても靑年男女が互に知り合ふ機會がなければならぬ。而して相知り相戀して家庭を爲し、初めて家庭は樂しかるべし。家に樂しみなき時は藝娼妓の必要が起るのである。眞の戀愛なき間は藝娼妓の絶える間がないであらう。

△斯くの如く交際せよ

最も健全なる交際の方法は如何であるか。戀愛し得る程度は如何であるか。かの逆上的猛烈なる無分別な戀愛は眞の戀愛でなく、かゝるものは冷め易いのである。冷靜に理智の明を以て互に判斷し得る戀愛でなければ眞のものではない。かゝる覺悟理想で進んでゆかねばならぬ。英米流の自由交際も靑年男女に自重心を起させてお互に相手を見るやうになる、これも一つの方法であらうが日本では行ひかねる。佛獨人の如く兩親の許諾を得て交際し、お互の人物を知り合つて後約束をなし、それより結婚迄一二年間所謂約束時機と云ふ小說的神話的な最も愉快な時を味ふてから初めて結婚と云ふ事にいたらねばならぬ。かくて愈々夫婦とならば妻は我夫以外に男なしと思ひ、夫は妻以外に女なしと信じ、一生節操を守り得る程にならなければならぬのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

藝妓問題に對する謬見

安部磯雄

吾々が來るべき御大典に際し、藝妓等が公然團體を爲して奉祝をすると云ふに對し、反對する精神に贊成してゐる人々も多々あるやうであるが、まだ藝妓も矢張り日本國民であり　陛下の赤子である、さう慘酷に取扱はなくてもよろしからうなどゝ云ふ者がある。友人ドクトル加藤時次郎君の如きは「赤十字社などでは藝妓から金を取つてゐる、愛國婦人會でも取つてゐる取るものは取る、御大典には出てはいけぬとは餘り得手勝手な申分であらう」と云つてゐる。然し我々は決して藝妓を憎むものではない。廓淸會や救世軍のやつて來た事に依つても解る話である。救世軍の如きは自由廢業したものを婦人ホームに收容し、最後迄世話してゐるのである。我々が恰も偉いものゝ如く藝娼妓を懲めると云ふのではない。社會には風儀があるから之を維持してゆかねばならぬ。そこで藝妓として世の中に大びらで出て來てもらつては困ると云ふのである、蔭の方でこそ〳〵やつてゐるなら、今の處さう追究する事もせぬのである。そこでドクトル加藤の云ふ如く赤十字社に金を出してゐるならば、赤十字社員としてちやんと社員相等の衣服をまとひ、夫人令孃らしい姿で、赤十字社員として奉祝するならば、何人か苦情を云ふであらう。只藝妓であると云ふ事の解る異樣な服裝で公會の式場に出てもらひたくないと云ふのである

要するに陰日向とも惡い事は廢して貰ひたいのであるが、人間であるから一朝一夕に進歩改良されるものでない故蔭の方でやるなら容して置くと云ふのである表面で藝妓を振廻されては淸淨無垢な青年男女が迷惑する。どうか大びらに御大典奉祝の行列などはしてく

れるなと云ふのである。一體文明と云ふものは多少窮窟を忍ぶものである。禮儀などゝ云ふものは皆窮窟なものである。若し禮儀などどうでもよいと云ふならば畏れ多いが御大典も御即位なされたものと思つて御擧行遊ばされなくともよいと云ふ事になる。米國では婦人に便所の所在を訊くさへ失禮な事となつてゐる。先頃シカゴ大學の野球選手が來た時有樂座に淀君と秀吉の芝居を見せた處同行の一夫人が淀君は秀吉の何ですと訊ねられ、説明者は妾だのてかけだのと答へるのは失禮と「あれは秀吉の妻です」と答へた。祖父と孫程も年齡の違ふ夫婦は妙だと盛んに質問されたが、終々最後まで「ヒズ、ワイフ」で通して終つたと云ふ事を説明した人から聞いてゐる。吾々は少くとも此位の禮儀を守りたいものである。實際世人が平氣で藝妓や娼妓の事を語り合つてゐる時、吾々の子女は甚だ惡い感化を受けつゝあるのである。吾々はかゝる見地から藝妓とか娼妓とか云ふ言葉を使はぬやうな時代の將來を希望してゐる。待合と云ふ言葉は停車場の待合室以外に通用せぬ時のくるのを希望する。理想を云へば新聞等にはかゝる文字の現はれなくなる時代を望んでゐる要するに藝妓をして御大典を奉祝せしめぬと云ふではない。公々然と藝妓たる事を表はして公衆の前に現はれる事を避けてもらひたいと云ふのが私共の主義なのである。

目ざましき貴國婦人の活動

ミス・ウ井ルソン

御大典記念事業としての婦人矯風會の御活動の幾分を承知いたします私はたゞ敬服の外御座いません。常平生優しい日本の姉妹方の此度の如に御活動なされるのは、日本婦人の位置の點から考へても結構なことゝ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

信じます。殊に貴會の御運動の中心が貴國の御婦人の方々でありますら、何となく眞に迫るといふ思ひがします。私の國のやうに女子が自由に仕事をすることの出來る社會ですら、矯風事業は至難で又社會からも兎角の非難のありがちの事業をかくまで御成功のありましたはこれも日本國民の愛國心と忠義の念の深いことと存じます、日本の方々は君の爲め國の爲めといふ心から起る仕事に成就なされる如に見受けられます。又日本の御婦人が此度の如に藝者問題を痛切に御考へになりましたことは御尤もと存じます。習慣、必要、社交制度、女子一般の思想など重々纏れての結果でありますから、一朝一夕で解決の出來ませんのは當前でありませうが、兎に角一般の人に進歩的な思想を考へる機會を與へられました丈でも大きな御活動でせう。中々此の事業はまだ〳〵至難でせう。今日が漸く初めで、將來中々六ケ敷くなりませう、社會は何時も需用と供給が伴ひます、文明の度が進むに隨ひ、社交も進んで參ります。社交が進むにつれ女子の交際の實を擧げねばなりますまい。操あり美しき交際術が擧がらねば、醜惡な分子でも止むなく社交を賑はすことになります藝者を社會の表面から葬る運動と同時に、日本御婦人一般の覺悟をも主張なさる必要があります、純潔な社交の實は文明社會と相待たねばならぬことであります不躾に申せば一般の日本婦人はあまり人前で沈默して居られるので胸底深く潜む玉の價値を他人に惜ませ給ふ感があります。去りとて私共外國婦人の如につゝまやかならぬ眞似を日本御婦人に御すゝめ申ではありませんが、その中庸に則り、すこしの批評は主義の爲めに受る迫害とでも、或は娘、孫娘の爲め其の他の子孫の爲めに道を拓くと覺悟なされて先づ婦人方は進んで社會の表面に立ち給はねば藝者問題の解決はつきますまい。私は去る日曜學校を暫時受持つたことがあります。其處でいつも、靑年達が教會の種々なる集會に深き興味を以て奔走なされる有様を見て、或は日本國の純潔な社交の實は此處から湧出るより他に道はなきかとも考へました。私は時々純日本式の御家

庭の御法事とか、又は其他の御親族の團欒の御仲間入をいたす時、たしかに日本御婦人が社交的の技量を充分持つて居られることをたしかめます。御親しき間柄では、御談話も賑かで、客も歸途の時間を忘れる位であります。その同じ純潔な交際の實をモー少し研いて、モー少し花も實もあるものにして一般社會へ貢獻する方法に御盡力なされば言分はないかと思ひます、此點に付きまして正直を申すと私は日本の御婦人より日本の男子の方に同情致します。例へば日本の御婦人は御婦人同士で御寄りになると時には御琴の合奏位は初まりますが、其處へ男子の方が御見えになれば切角の御興も御遠慮になる。さうすると私共外國人の目には「なぜ男子の方も御婦人と同じやうに樂しませて御上げにならぬか」と一寸御婦人に文句を申上げたくなります一事が萬事で男子方と御婦人とは樂しみ卽ち社交の樂しみを純潔な社會で別々にして居られるから、純潔ならざる社會で求めらるゝ傾向になる。素より男子側に貞操問題、純潔問題、此等の問題を鼓吹されなければならん必要もありませうが、女子側からも藝者廢止問題を積極的に考がへられる必要はあると存じます。京都市に於て知事公を初め御夫人御同伴で公開の席上に臨まれるやに聞き及びまして、貴國の爲に慶賀致し、又矯風會の御活動の結果の致すところと御愛でたく存じます。前途は中々遼遠でありませうが、改革事業は百年の事業であります。明治の御代の初年よりの經驗に照し、日本の改革事業は他國に比較して速く實着でありますから、不日今日の皆樣の御事業を追懷して全國民が感謝の詩を唱ふことがありませう、私は貴會の御事業が種々なる方面に今年のやうに轟き渡りましたことを心から祝する米國婦人の一人であります。

母の立場から見た
大典記念運動

杉本鉞子

△こは迂遠の運動に非ず

先日友人の家の晩餐に招かれました。其處で某先生に御目に懸りました。先生は名の知れた方で、特に社會改良運動と婦人問題には一廉の識者として世間からも許されて居られる方であります。先生は私の顔を御覽になると突然「杉本さん貴女に御目にかゝつたのは好機會ですから、矯風會の御活動振りに就いて僕の持論を遠慮なく述べさせて頂きませう」と被仰いましたから、勿論私も先生のやうな卓見家から御意見を伺がひ、又御指導を受ることは感謝いたすところで御座いますと謹んで御受けをいたしました。先生は御親切に「矯風會の事業は足が地に付いて居ない、まるで空を翔けて居るやうに見えます、御大典紀念運動などいうて御騒ぎになりますが、どうです、モー少し、順を逐つて目の前、足許にある仕事から御取かゝりになつたら」との仰せで御座いました。先生は私共の仕事に就いて兎に角御考へ下さればこそ、かく明白に御警醒下すつたことと存じましたが、同時に私共の仕事が一般世の中から誤解を招くのは當然だと思ひます。又矯風會會員が常に立脚地を踏み誤まらない注意が肝心と存じます。事新しく申すまでもない次第でありますが、矯風會の徽章の白リボンは一言で云へば世界を理想の家庭にしたいといふ抱負で、とりもなほさず家庭本位であります。幸福圓滿な家庭を世に充たしたいとの切望が矯風會の目的であります。此會の「御大典紀念運

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

動」とか「決議文」とかいふことは、つまり會の目的を貫く一方便であるので、本體の目的は飽くまでも家庭本位であるのでございます。自分の淺薄な經驗から申しましても、私は飽くまでも現今の醜業婦の制度に就て世間一般が眞面目に考へる丈け進歩しなければ、女子の位置は勿論、家庭の幸福と子女の敎育は大に傷けらるゝと悲しむ者であります。

△外國で生れた少女の質問

私事を紙上に述ぶる不躾の恐れを忘れて申上ますれば、私は二人の娘を持つて居ります。二人とも米國のオハヨー州シンシンナテ市で生れました。シ市には十二年間住居いたしましたが、日本人は稀にしか見えない土地でありましたから、自然小供は米國風に育ちまして、随つて日本の風俗を外國風俗のやうに心得て居りました。父母は「日本人の兒」で日本を解さいのは將來の不幸も思ひ遣られますからとて、私は十歳と五歳の娘二人を連れ數年前、僅か二三年滯在の目算で歸省いたしました。日本語も一言も解らず、日本の風俗人情は御伽話的に承知するより他に知らぬ飾りのない子供等の質問は或は公平な極と思はれます。習慣に制せられず、他人の思惑に泥まず、虚心平氣で色々の問を起される毎に、母としての心に「家庭敎育と藝者制度」といふことが私の腦裏から離れることが出來ませんでした。私共も知らぬ土地、わけて外國に遊びますと、物事の印象を鋭く受けます。外國人の目には日本の事物の印象が深う御座います。それと同じに、日本人も外國へ行くと善い事、惡い事の雙方から、印象を受けることが深刻であります。私の小供二人は日本先祖の血を受けながら、つまり正直な外國人でありますから疑問が無遠慮で無垢でありました。

△「あの美しい叔女は誰？」

下町などで行會ふ藝者を見ても親は小供の時から見慣れて居るので平氣で行過ぎますと、十歳の少女は「あの美しいレデー（淑女）は誰です」と聞く。それは何

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

となく、風の華美やかさに氣の付くのであります。一兩年日本の風俗にも慣れて段々家の構造などに氣の付くやうになりました時、(私は青山に住つて居りますから、横濱などへ用事に出掛けます時に、時々赤坂見附で乘替へて赤坂の待合續きの街を通りました)軒を並べた待合の家々を「彼の綺麗な家は誰の家?」「何故他人の御家で御友達を待つのです?」却々理屈ある問ひを無邪氣に聞かれました。その都度私は出來得る丈け虚言でない限りに於て無垢なる少女の心を傷つけまじと心掛けて返答をいたしました。

△「日本の祖父さんは慘酷」

日本へ歸りまして三年目の夏に小供を伴れ相州鎌倉に避暑を致しました。鎌倉に御遊びになつた方はどなたでも御存じの同地一等の旅館が長谷観音堂の坂の近くにあります。旅館の奥の一部は「家族向」の生活に適するやう萬事鎌倉に夏を送る家族の爲に都合好く出來て居ります。それで小供伴れの女客でも心置きなく靜かな夏を過せますが、或る夕方庭の芝生の上で大勢の小供等が樂しく遊んで居りましたが八歳になつた私の小娘は、大急ぎで庭の四阿の方から走つて來て、さも大事でも起つたといふ意氣込で而も憤慨したといふ調子で、「ママ(母上)彼處の四阿に實に殘酷なグラドパパ(祖父)が可愛御孃さんをいぢめて居ますよ。御孃さんは二人とも「嫌だ〳〵」といふのに逐かけ廻はつて、御酒を飲ませやうとして居ますよ。日本のグランドパパは邪見ですねー、」私の小娘と遊んで居られた他の御子達には、その光景が別に深い印象はなかつたやうです。笑止と笑ふ子供と、氣を止めぬ二組でありました。私の小娘は別に神經過敏である爲に一人この光景に立腹したのではありません。慣れぬ國の習慣が鋭い印象を與へたのであります。幸に少女が孫御孃さん達だと判斷して、雛妓だと知らなかつたことは幸福と思ひました。斯樣なことは不幸にして私共が目にする度も稀でありませんが、社會の心理狀態が痲痺でもして居るやうに、あまり感じませんのが普通でありますから、一度矯風會が「公開の席上に醜業婦を侍せしめざること」を熱望いたしますのも、矢張家庭の子女

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

敎育を本位にした理由であります。天下に小供を持たるゝ親御方が、此度の婦風會記念運動を家庭敎育の上から御贊成下さることゝ確信いたします。

手輕西洋料理

岩村安子

△**牛肉パイ**　挽肉百目、馬鈴薯八個、牛乳五勺、玉子一個、玉葱一ッ、料理バタ中匙一杯、鹽小匙二杯、

先づ馬鈴薯を丸ごと茹で、薄皮を取りて中潰しになし、分量丈のバタ鹽牛乳などを之に混ぜます。又別に引肉に玉子と鹽、玉葱を卸し入れ、よくまぜて置き、テンパンか又は皿にバタをよく塗り、馬鈴薯を週りに皮となし、内側に牛肉を入れ平にして、テンピの中段で廿分間燒きます。最初は火を弱目に五分位してから强く致します。出來上つた時胡椒をふりかけて皿のまゝ出します。

△**クリームエッグ**　玉子五個、酢小匙五杯、鹽五つまみ　バタ小匙一杯半。

玉子を廿分間茹で、直ちに水につけてから皮を取り、竪に切り白身と黄身とを離します。黄身を丼の中で潰し、バタ鹽、酢の順にて入れよくまぜ先の白身の中に詰めます。別にキヤベツの中葉五枚を細かくきざみ、ざつと茹で、フライ鍋にてかわかし、バタを小匙輕く一杯入れ、火より下ろす時鹽をふりかけます。

白ソースはバタ大匙一杯に粉一杯をよくまぜ牛乳で溶きながら火にかけます。

皿にキヤベツを塀となし、玉子を中心に入れ上より白ソースを掛けて出します。

○廣告○
御購讀御申込を乞ふ

主幹小橋三四子　編輯主任松本雲舟

婦人週報

每週金曜日發行四六版四倍十二頁
御大典を期して十一月五日創刊

本紙の六大特色

○本紙は婦人の健全なる思想を代表する機關として、其の權利を伸長擁護せんために、新らしく生れたものであります。
○本紙は内外婦人界の出來事を始め、婦人に必要なる社會の時事を報道し、又其の正當なる解釋を致します。
○本紙は種々なる婦人問題を提出し、又時事問題を捕へて、識者の意見を徵し、嚴正なる批判を加へて、因襲に囚はれた人々の蒙を啓かんことを期します。
○本紙は家庭に必要なる實際的記事を掲げ、衣食住の改善を期するものであります。
○本紙は淸新高潔なる趣味を普及せんため、人情の極致を現はせる美談、小說其他の讀物を掲載いたします。
○本紙は身の上相談欄を設け、男女の種々な煩悶に對して親切にして的確なる解答を與へますこれは本社の附屬事業たる「人事相談所」と聯絡を取つて致します

定價　一部四錢五厘（郵送料共）三ケ月（十三部）前金五十四錢、半ケ年（廿六部）前金壹圓、一ケ年（五十二部）前金貳圓

發行所　東京牛込區市ケ谷田町三丁目十七番地　**婦人週報社**　振替東京三一六六〇　電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聖母

安中花子譯

一、救の手

此處はロンドンで名高い貧民窟の木賃宿。何か譯の分らぬ言葉で罵り乍らよろめき〳〵去つて行く醉漢の後姿を見送つて、イブ・ノリスはホツと安堵の息をついた。

「まあ、ほんとうに飛んだ御世話樣になりました。あなたが御出で下さいませんでしたらどんなになつたか判りません。誠に有がたう御座いました。」

「イヤ、お禮では却つて痛み入ります。然しこんな所へ御出懸けの時には誰か、しつかりした男子を御連れにならないと危險ですな。あなたの樣なお方が獨りでお出でになる場所ではありません。」斯う答へたのは既に一昨年あたり四十の坂は越したかと思はれる人。服裝が見すぼらしい丈けに人品の勝れたのが際立つて見える。輪廓のはつきりした顏、絕えず何物かにあこがれて居る樣なまなざしには美しい感情のひらめきが寫つた居る。

世に綺麗な婦人は少くない。風采の立派な婦人は多くある。然し眞に美しい人といふものはあまりあるものではない。イブ・ノリスは其稀に見る美を備へてゐたのだ。

「誰かしつかりした男子をお連れにならなければ」と言はれた時、其の美しい眉の邊りが心持曇つたのが件の男には何となく不思議に思はれた。

「エヽ、それは私も承知してゐるのですが……」と何

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

か頼り無さゝうな口調だ。と思ふと今度は打つて變つた蓮葉な調子で、

「元々私には慈善心なんていふものは無いのですから第一、かうして貧民窟を見舞つてゐる事からして商賣違なのですよ。」と言つてのけて、呆氣に取られて自分をマジ〳〵見つめてゐる相手を小氣味よさゝうに見返した。

「此貧民窟訪問といふのは、私達の社會ではどうしても行なけりやならないお務の一つなのですからね」

汚穢を極めた周圍と不思議な對照をなしてゐる美々しい裝ひのこの人を男は情無げにヂーッと凝視た。

「私、どうしてこんな事をあなたに白狀したのでせうやつぱり何處かの隅に未だ正直の種子が殘つて居るのでせうね。私はあなたに「慈悲の女神」のやうに思はれるのが心苦しいのです。私の大嫌ひなものは貧乏人、而も其の子供などゝ言つたら考へる丈けでもゾッとします。」

夢みる樣な男の眼は悲しげに貴婦人の上に注がれた。

ふと、急に何か思ひ附いたらしく、婦人は優しい聲音で話し掛けた。

「あのう、誠に失禮ですが何かお禮のしるしにさせて頂き度いのですが……ほんとうに一方ならぬ御面倒を御掛け申ました。あなたが御出で下さらなかつたらどんな事になつてゐたか分りません。醉漢なんかはどんな亂暴を致すか知れませんもの。」

事に臨んで氣後れがするなどゝいふ氣持は曾て身に覺えた事のない思ひ揚つた婦人だが何故か此の時ばかりは非常に面はゆく感じた。服裝こそ見すぼらしいが此の男が眞の「紳士」たる性格を備へて居る事ははつきり分つてゐる。其の人に向つてかうした言葉を語るのが此上なくはしたないすさびの樣に思はれたのだ。

「さあ……そんなお禮では實際痛み入ります。然し御言葉に甘へる樣ですが一つお願致し度い事があるのです。」たゆたひ勝に彼は口を開いた。

「イヤ、止めませう。とても叶はぬ御願です。申上げぬ方が花でせう。」と今度はきつぱり思ひ切つたらし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い様子。

「妙な御遠慮をなさいますのね、どうぞ仰つて下さい。どうぞ」ノリス夫人は熱心に迫つた。

「實は私は畫家なのです。若し……若しあなたが一二度御出で下さつて私のため御座り下さる事が出來たらと思つたのです。決してお手間は取らせぬ積りですが……然しそんな事はとても法外な望です。」

「アラ、それ位の事で御座いますか、宜しう御座いますとも。私で濟みます事なら喜んで參ります。何日がいゝでせう。」

セーブルのマフの間からノートを出してしきりに日を繰つてゐたが漸く都合が付いたらしく、

「火曜日の午後では如何でせう。三時頃なら上れます、がそれで宜しう御座いますか」

「御出で下さるのですか。實に思ひ掛けない幸福です。感謝に堪へません。」

如何して心にあふれた感謝を表していゝか惑うて居るらしい。

「まあ、これ位の事でそんなに仰つて頂いては私が困つて仕舞ひます。私こそ樂しみに致して居ります。それでは何れ火曜日に。」

畫家は夫人を伴うて階段の下まで行つた。薄汚い宿屋の入口には、驚の目を見張つた子供達に取り卷かれて一臺の自動車が待つてゐた。最前からあくびの連發をして居た運轉手は急に最後の一つをかみ殺して恭々しく夫人を迎へ入れた。夫人は元氣よく、見すぼらしい外の人にほゝゑみかけつゝ、

「では火曜日に」と言つて輕く頭を下げた。

二、迷ひ

皮肉で我儘で贅澤で俗氣に滿ちたイブ・ノリスではあるが畫家に話した彼女の所謂「正直の種子」が失はれ切れなかつたのか、流石に財産が目的で結婚した其の夫を愛してゐる振り丈けはしなかつた。尤も夫といふ人もイブが財産故に自分と結婚した事は知つて居つたのだが、無理にでもと望んだ位なのだから、其の邊

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の所で滿足したのであらう。一人の子息をせめてもの慰に、寂しい心を其のあどけない片言で紛らせて居るイブは中々腕利きの方だからこの大家を立派に萬事萬端ぬけ目なく監督して居るのだ。夫妻顏を合せて語るなどゝいふ事は一日中殆ど無い。萬事に内氣で、男には珍らしい程稀な人とて、ノリスは決して其の妻の華かな生活の中に入らうとはしなかつた。一日の大部分は子供部屋で、積木細工に餘念ない一人息子の相手をして暮す、それでなければ、有り餘る財產をなほ其の上に增やすため、市の方の事務所へ出掛けて行つた。

貧民窟訪問の三週間前、ノリス夫人は或る大使館の夜會でパウル・チャータースに出逢つた。パウルは骨格いかめしい眼に何とも言へぬ力を持つた紳士であつたそしてイブとこの人はいつの間にか則に外れた思を互に通はす樣になつて仕舞つた。イブの仲間の或人々は面白半分に事あれかしと二人を注意した。又或人は嘲の目を以て眺めた。然しイブの心には夫もなければ子もなかつた。無論周圍の人などは心中にはいらなかつたのだ。

一日の中半時間位夫人は夫と言葉を交した。それから十分位子供部屋へ行て乳母から子供の發育上の報告を聞いた。やがて自分が其の家を去つて仕舞うたら夫のピーターは隨分失望する事だらう、又行々は二代目ノリス家の主人となるべき幼いピーターも嘸泣き叫ぶ事であらうとも時々は思うた、然しピーターの母になり度い人は世の中にいく人でもあると考へて、安心した。こんな事を思ひ浮べながら彼の女は三四度畫家の見る影も無い部屋の椅子に座つた。其の最後の日夫人は彼に畫を見せてと賴んだが彼は淚を浮べて、どうぞ此儘で行つて欲しいと願つた、「何といふ變人だらう」と心に笑ひながら、見た事もない其の畫を百圓で買はうと言ひ出した處が、畫家の靑ざめた顏に急に血が上つて、賣物ではないと彼女は荒々しく斷られた。夫人はそれを事もなげな笑に紛らせて、さて其の儘其の部屋を出て行つた。斯くてこの二人は再び逢ふ由もなく相別れたのだ。次の一週間彼女はチャータースとこゝ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の舞踏會、あそこの晩餐會と殆ど毎日顏を合せた。
相變らず毎朝食事の度毎に夫のコーヒーを整へては加減よく注いでやり、日に十分づゝは必ず幼いピーターの部屋を訪うて乳母に何かと注意を與へては居つたが、イブの心はとうの昔に現在の自分の生活からはなれてゐた。彼女は遠からずして此の家を永久に後にして、出て行く心組であつた。

三、聖母

今宵こそは住み馴れた家を永久に後に殘して出ようといふ日の午前だつた。ノリス夫人は流石に一種の不安におそはれて騷立つ胸を靜め、思を紛らすため、友の某夫人を誘うて美術館へと出かけた。一つには時間を消すためもあつたが又一方には、若しやして——十の中九までは——再び蹈まぬ英國の地の、其の美術館の見納めもし度かつたのだ。
最初の二つの室には一向に見るべきものもなかつた目錄を繰り乍ら、イブは何度かあくびをした。第三室へ行くと、何か非常に見物人の注意を引いた繪が有るらしい樣子だ。一つの繪をかこんだ多勢の人々の目には崇高な光が宿つてゐる。イブの友は足早くそれに近づいた。イブは餘り氣乘りもしない樣な樣子で歩を運んだ。群衆は女王の樣な彼女の美に敬意を表して言ひ合せた樣に場所を開いた。
イブの顏は眞青になつた、息は今にも絕えるかと思はれた、血の氣の失せた頰をして、其處に其儘固く立つた。
繪は「聖母」と題されてあつた、畫家の名はリチャルド・ラトム。そして、兩の腕にいだいた愛らしいみどり子にあふるゝばかりの笑を傾けて居る美しいマドナの顏はイブの顏であつた。
友は呆れた樣。イブの答は短かつた。此繪のために座つた事は無い。「あのマドナの繪」のために座つた覺えは無い。自分の顏は確かに寫させた事はある。けれども——彼女の言葉は後先が合はなくなつて來た。絕間なく二人の側を行來する人々の多いのに狼狽して、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友はイブの面貌深くヴエールを下させた。
　イブは友の言ふ儘に從うた、然し彼女はもはや群衆の事などは思はなかつた。彼は總べての人、總べての事を忘れた。パウル・チャータースすらも其の心中にはなかつた。血走つた其眼は其處に寫された美しい顏の上に止められてある。そして其の中に「斯く有り得べかりし己」の姿を讀んだ。彼女の生涯は斯く美しくもなり得たのだ。卑しい利慾の思を捨てゝ純なおとめ心の命ずる儘に幾年か昔、眞に愛し敬い得る人に自分の生涯をさゝげたなら、之と同じ樣な優しさと情と――それ丈けではない、殆ど渴仰に近い思――を以て今、自分の幼子を腕にいだいて居つた事であらう。それを――噫！。イブは泣ても足りない恥がしさに襲はれた。斯くあるべかりし生涯を、徒らに、はかない虛榮に囚はれたばかりに、眞の心の望に從はなかつたばかりに今、自分の一人子は、寂しい遊び部屋で、金に絲目の付いてゐぬ玩具にかこまれて、其の代りには母の情を知らずに遊んで居る、そして悲しげな夫は笑ひ聲さへ度々は聞えぬ。立派な邸宅でものうい月日を送つて居る。この給の中の母が、みどり子を眺めて居る眼で自分が其二人を見た事が曾て有つたであらうか。
　過去數年の皮肉な思は消え去つた。今といふ今は鏡に寫された樣に自分の利己主義がはつきりと分つた、一種の哀みより外には何の感じも持ち得なかつた其の人に己の生涯を與へた時、彼女は恐ろしい罪人となつたのだ。單に「生命」を與へたといふ、それより外には何の喜びも與へなかつた彼女の子に對しての態度は人道上赦されがたい惡であつた。「いくつになつても」と笑はれながらもはなせなかつた人形の數々、春よ夏よと美しい衣を着せつ、ぬがせつ、母心を思ひ見ては優しいあこがれを胸にいだいてほゝゑんだ若い日もあつた。其の若い命を、其の貴い生命を、黄金に代へた。それから後の數年、唯我儘に贅澤に、世を嘲り、家庭を呪うて暮して來た。そして遂には、今や「情熱」の祭壇に己が身を供へようとして居る。
　然し、其處に見えるのは確かに自分の顏である。純

な人の純な心には總べてが淸く寫る。卑しい墮落し果てた自分の此の顏を畫家は此貴い繪の基としたのだ。餘りの事にイブは笑ひ出し度いまでに思うた。恥かしさと口惜しさに打たれては、其の胸をかきむしり度くも思うた。其の瞬間誰の事も忘れた。唯、つかれ果てた顏して、一言の優しい言葉にも喜ぶ夫と、美しい空色の目に切な切な願をこめて「母樣、お家で坊と遊んで」と折々せがんだことのある幼子の上丈を思うた。

しきりと自分の名を呼ぶ友の聲にやうやく我に返つた。何か話しかけられたがそれに答へようとはせず、

「誠に失禮ですが、私これから直ぐ歸らなければなりませんから」とさゝやいた。

「お家へ御歸りになるのですつて。」友はいつもにない事をイブから聞かされたので少からず驚いた。午食を共にする約束のあつた事をも注意した。がイブは唯無言で頭を振つた。

「家へ。」此の一言は異樣にイブの耳に響いた。

自動車に乘り込み乍ら斯く運轉手に命じた時、イブの唇には、かすかなをのゝきが見えた。

それから二十分後、勞れ切つた顏をしたノリス家の主人は思ひ掛けない妻の足音を聞き付けて書齋から出て來たが、いつになく靑ざめた顏を見て、憂はしげに眉を曇らせた。

「晝は外で濟ますのだと思つてゐた。顏色が惡いが如何したの。」

イブは乾いた笑をもらした。

「アラ、如何も致しませんの。それどころか、今までにこんなにはつきりした氣持になつた事は無い位です。どこも惡くは無いのですが、どうしても家へ歸り度くなりましたの。」

かう言つて彼女は顏をそむけた。然し其の時にチラと夫を見た眼には曾て今まで、彼が覺えた事の無い新しい光が輝いて居た。急に彼の顏に生々した光が表れたイブの心は新しい感情で燃えた。其の燃えた心を其の儘に彼女は一目散に子供部屋へと走り入つた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ほり出しもの　バザーの記

守屋東

丁度忙しい事務所の夕暮に、先生と話が御大典運動費用の件になつたとき、各自會員の家庭には隨分不用な物品があるにちがひないから、それ等を寄附しあひて、半額位でバザーを開いたら如何だらう。

第一、不必用品の仕末がつく事。

第二、金といふと一寸思ふやうにならないでも品物であれば割合にたやすく寄附も出來やう。

第三、我家では不必用な物でも必用な人の手に渡れば有用に使はれる事。

第四、凡てが寄附だからバザーといふ高商をせずともすむ事。

などゝいふ利益もある事だから思ひきり一つ試みて見ませうか、と早速御相談も纏まつて東京市内の會員に謄寫版ずりの趣意書と同時に寄附を乞ふ事になつたのでした。

如何なものが集まる事かと心待ちにして居りますと返信用として封入したハガキは日々様々な事が認められて歸つて來ます。

「別にありませんが茶碗一組ありますからお序手に使を願ます」といふものもあれば、簡單に「何もなし」といふのもあるといふわけで氣持ちよく仕事は運ばれて行きました。

初めからの約束で出品者の名は決して出さぬといふ事にしておきました。

一番先に某夫人から銀座の三銀の至つて凝つた瀬戸物箱入が五品程來ましてからはぼつ〳〵と集まり、次に五百點程のものがよりました。一々番號と定價とを印して雜誌棚三間の處に三段ギッシリ出來ました。

品物の種類別を申ませば隨分御座いますが重なものは半巾、袱紗、半衿、瀬戸物、鑵詰もの、漆器、小間物、荒物、花瓶、書籍類等殆んど新しいもの許りでした。大方は到來物が多いやうに見えました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

特別に感じたものと申せば或靑年部の出品で使つたリボンを清潔に洗濯し鏝をあてゝ新しいものゝやうにしてあるリボン、いかにもやさしいつゝましい女學生の生活が見えてうれしく思はれました。

こんなものは如何いふ方の家庭で用ひられるか知らんと案じたやうなものが反つて非常に必用品として歡迎され滿足されて買はれたものもありました。

とにかく十月十九日午前十時から午後五時まで事務所で開會と定まり當日其時間まで豫約も賣却も一切許さぬといふ事にして陳列初めました。せまい事務所の上も下も店になりなか〳〵思ひ以上に美しく陳列が出來ました。買手の人達は九時頃から早や御來店といふ有樣、十時の合圖にそれ〳〵買ひたい品物に赤札を貼る樣子は大した勢で御座いました。

初めから會員相互の便宜を計る爲といふ事が主なるもので御座いますから、入場者は會員か其紹介者のみで御座いました。天氣は秋晴れの温い美しい日でした。あちらでもこちらでも「安い〳〵」と喜ぶ聲を聞きながら商買する氣持はいゝもので御座いました。中には「あんまりやすゝぎはしないか」などゝいふ方もありましたが別段高くして買つて行く方もありませんでした。

夜學の方を敎へながらお勝手の萬端を引きうけて下さる山川まし子さんはせわしい中から「赤の御飯」と「五もく」とを作つて「一パイ二錢」と札だして食堂で賣つて下さいました、思ひがけぬ催しに晝食の用意のない折から大好評で忽ち賣上りました。何でも二圓近く上り高がありました。サイダ一箱の御寄附は早速開いて一本八錢に賣却しました。これも同じく好評でした。

一時頃に見えた方にはお氣の毒のやうにいゝ品物は賣約濟か賣り切れ、それでも掘り出しものを見つけたと少ない方でも二三品は買て行かれました。

一番多く買物をされた方でも十圓を出た方は一人もありません、大方一圓五十錢以内が多數でした。三四圓の買物して「こんなにある……」と喜んで行かれた

西洋婦人の樣子などとても一般のバザーに見る事の出來ない温かみのあるバザーでした。
或る夫人の御寄附の大豆は先生のお思つきで日露戰爭當時の慰問袋の殘りに入れ一袋拾錢と定價され飛ぶやうに賣れました。袋だけでもよい記念品です。帳場にあつて働かるゝ小崎夫人の樣子といひ買物渡し掛の加藤、倉知の兩姉の包紙のお手ぎはなどなか〳〵黒人跣足との評。
杉本姉が外人客をそらさぬ御接對はさすが米國仕上の本物だと小影から聞えますと同感の聲にどつと賑やかな笑聲、一層の景氣といふものもそひ誰も彼も樂しい悦びの中に入りかはり立ちかはり大繁昌。
五時まで店を其まゝに開きつゞけるには品物があまりに賣れすぎまして四時半に閉店いたしました。
斯うして此日に賣り上りました金額は殆んど八十圓許りになりました。入費を差し引き純益が六十五圓餘は喜ひと滿足の中に得た感謝すべき金。只むなしく戸棚や押入の中に場ふさぎとなつて居つた品物が六十五圓餘になつたので御座います、只努力と時間と同情とが加へられた爲に出來た寶で御座います。東京支部の會員は心から喜んで此金を御用の爲に捧ぐるので御座います。
試にした會が成功したよろこびを力として年々春秋二回開催いたす事にしたいと存じます。どうか今からお心掛け下さいまして品物を用なき處に御使ひ下さらぬやうお願ひいたします。

海老名夫人歸朝さる

記者

○天洋丸にて七月十日出帆され米國沿岸に我等同胞の爲に夫君海老名牧師と働かれ多大の感化を及ぼして沿岸同胞の感謝を負うて十月十九日無事に海老名夫人みや子姉は歸朝さる。あたかも掘出しもののバザーの當日なりし爲にお出迎をなし得なかつた私共は次の日お宅に伺ふて謝意を述べ御健康を祝しました。
「如何しても婦人が覺醒して實行しなければなりません、やらなければなりませんよ………」
と勵まして下さつた。今後同夫人の御活動は實に今回の御渡米により得られし確信の表はれと見なければなりますまい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

京都市貧民病者救濟の健康會を訪ふ

京都同志社女學校內青年部　笹井りつ子

大正四年九月十八日午後の日足しをパラソルにさけて、富森先生の御供をなし、數名の姉妹方と手に手に花をたづさへ、貧民病者救濟の健康會を訪ふ。富森先生の早い御足に、やゝもすればをくれがちになりつゝ今出川烏丸より電車にて堀川二條に下車す。西に三丁北に五丁赤黑き建物高く、志し高くそびへている。不健康氣に見ゆる娘をたすける母親の憂はしき顏。青白き大の男を肩によせつゝよろめき居る小供など、あだかもイエスがガリラヤの海邊にて多くの病める者を癒し給ひし樣思ひうかぶ。石黑氏夫人御いそがはしき手をとめて、我等をむかへ、いろ〳〵御說明くださる。診察時間は午後一時から四時までにて平日來診者は六七十名。今日は八十五名に達す(午後三時四十分)共に過度の勞動、營養不足からきたす結核性なりと話さる御顏にはあり〳〵と御疲勞の樣見うけらるゝ夫人の御案內にて診察室休憩室等に各々花をたづさへて見舞ふ校庭に無心に咲けるこれらの花も、かくして病める貧しき人の手にわたるを嬉しく思つているであらう。白い病院の特等室に百花にかこまれ、看護婦に侍づかれ病を養なうも神の子。むせるがごとき貧民長屋のくちし疊の上、ベットもなくうつぶす人もこれ又神の子。あゝしかしいつの世にも救主はいます、今や救ひのボートは濟ぎ出され綱はなげられた。

發行遅延のお斷り

本號には御大典紀念運動の一端として、京都に接待所を設けたので、その寫眞を皆樣にお目にかけたいと、足場の取れた日寫しました。それ故編輯期日に狂ひが來ましたのも遅れた一つの理由でございます。其の他本會と廓清會とが聯合して催した輿論喚起の演說會に於ける諸名士の御演說を入れたいとて、態々待ち受け或は本部役員が御大典の近づくに從ひ、その準備に多忙を極めたので原稿の遅れたのも、かく發行の遅延した理由でございますあしからず御許し下さい。(編者)

各地通信

本部

十月四日(月)午後二時より事務所にて常置員會を開く、矢島會頭の司會にて小崎千代子氏は一同を代表して會頭及守屋東子氏が京都、大阪、神戸、吳に運動せられし勞に對し謝辭を述べ、會頭の御挨拶あり。次に左の報告に移る。

一、京都、大阪、神戸、吳にて會頭と共に活動して非常に好結果を得、殊に吳にて婦人の百人以上集りし事は之迄になき事なりしと。

二、專任幹事の第一候補者久布白夫人に交渉の顚末。

三、京都に於ける接待所設置に關し詳細なる說明。

四、十月廿四日の日曜日を期し、全國各敎會に於て御大典記念事業として我が會が決議せる事項につき特に祈禱を捧げらるゝ樣依賴の件。以上守屋東子氏報告

一、去月廿八日廓清會の評議會員に於て來るべき御大典に際し、矯風會決議文の第一項を是非有力ならしめんがため、島田會長は宮內及內務の兩大臣を訪問し、矢島楫子、油谷氏は大隈首相を、山室軍平氏、宮田脩氏は警視總監を、三輪田氏は文部大臣をそれ〴〵訪問せらるゝ事又石田氏は各新聞社を訪問して輿論を喚起する事につとめらるゝ事に決定せり尙ほ「廓清」矯風會應援號を發行して矯風會の支部にも配布する由。藤井かう子氏報告。

出席者は矢島、杉本、古田、スペンサー、根本、飯田、井深、田山、松宮、守屋、藤井、外に神田支部より皆川氏列席せられたり。

東京聯合支部委員會

十月十一日(月)午前十時より事務所に於て聯合委員會を開く、守屋東子氏委員長に代りて司會をなし、左の決議をなす。

一、京都支部の接待所費用を助くるため東京支部より金百圓を送る事。

二、演說會は青年會、廓清會と合同して開催する事、之に關し右兩會に交渉する事は小崎委員長に願ふ事。

當日の出席者は委員長小寄千代子、大藤八重子(神田支部)川崎まさ子(麴町支部)守屋東子(小石川青年)にして田山せい子、沖田きん子兩氏は小石川支部を代表して午後に出席せらる。

吳

矢島會頭及守屋少年部長大阪より當地に來訪あるべき電報に接せしより、豫ての懇望達せられしを喜び九月十八日午前役員會を開き此好機を利用して我會の決議文及び年來の主張を當市に公表するは極めて緊要の事なりと終に公開演說會を開催する事に決せり。

九月廿日會頭は疲勞をも厭はせられず市內各敎會、牧師其他の有志を訪問せられ、今回訪問の目的並にそのための盡力を乞ふ旨を述べらる。

同月廿二日午前九時より軍人ホームにて歡迎會を開き、會頭より我が會の主義精神等を說明せられ大に奬勵を受く、十一時より當地各敎會及救世軍敎役者來會せられ午餐を共にし午後より婦人大會に出席す。

婦人大會は當地日本メソヂスト敎會に開く、來會者百十五名、之れ當地の婦人集會としては稀有の大集會とす。守屋部長は高松市へ向はれこの會に間に合はざりしは遺憾なり。矢島會頭は八十の老體を物ともせず熱烈なる講演を述べられ新入會者即時に二十名を得たり。

廿三日午後一時半より要公會堂にて女中の集會を催す。守屋氏「光」に就きて語られ一同を感動せしめたり。

廿四日午後七時半より演藝館に於て矯風大演、

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

說會を開く、十時支部長開會の辭を述べ、小崎牧師紹介演說をなし、粟飯原牧師は所感と題し當地の壞廢せる惡俗弊風を指摘し、之が救濟策を論ぜらる。守屋部長は本會の二大決議案より說き起し、現今我婦女子の貞操の嚴守せられず男子の玩弄物となり、敢て怪むものなく、男子の貞潔觀念亦た甚低く、我會三十年來の請願として議會に提供せる問題も今尙ほ採用せられざるを憤慨せらるゝ等說明、周到、論理明晰、滔々として說き來る、聽衆敬聽首肯…何等惡罵嘲笑の態なく、矢島會頭は「幸福」と題して當意即妙の滑稽を交へ、聽き疲れたる會衆の頭を解かしめ、微笑の中に傾聽せる彼等に幸福の眞意の存する處は平和の家庭なる事より說き來りて、我等の大精神を了解する事を得せしめられしは流石老練の功なりと人々敬服せぬはなかりき、献金六圓餘を得、更に矯風會、廓清會の入會者十七名を得たり、會衆五百名を超過せりといふ。（小崎美智子）

北海道 札幌

九月十四日辻會長宅にて慈善會と役員會を開き仕事をなしつゝ會の相談をなす四時閉會。出席者十二名。

同十六日（木）午後一時より獨立敎會にて感話會を開き、母の課長佐々木氏司會にて會長外二名の感話ありて三時半閉會す。出席者十七名。

（海老澤まさ子）

弘前

八月十八日午後二時より、高谷氏宅にて母の會を開く。高谷會長の司會にて神戶關西學院敎授吉崎氏及小野牧師の御話ありたり。吉崎氏の要は婦人は天性がよわく見ゆれども醇化されたる愛に於て或は宗敎上の觀念の强きことに至りては男子に勝ること幾倍なりと實例を引き話らる。小野氏は人世の見方が二樣ありて、見方によりて人生は恰も夢の如く、不眞面目なる生涯を送りし後の心の淋しさ云はん方なき事につき或る人の例によりて示され、之に反して心に神を認め其生涯を神に捧げて尤も活甲斐ある一生を送られし方々の例を引きて其前者と差違の甚だしきを示され「主義と起ち、主義と倒れん吾身かな浪華の夢の世にしあられば」との故新島讓先生の詠歌を引兩氏とも有益なる講演をものされたり。出席者三十四名、新入者一名。此日花の課長黑瀧氏の發議によりて市內の貧しき負傷せる小兒のために一圓を見舞として贈る（高杉ツル）

東京 小石川

十月九日（土）午後二時より小石川區原町デスリッヂ氏方にて例會を開く。パンフハインド女史司會の下に萬木書記缺席の故を以て原田氏代りて報告をなし、內ケ崎會計に代りて田山せい子氏より會計の報告あり、同氏より御大典につき本部諸氏御活動の有樣を語られ、當支部長及田山夫人は小石川區役所並に警察署を訪問せられ當局者と會見の結果、我會の決議文は深き同情を以てむかへられ、其のために或る新聞にて藝妓の身許を取調べたる上各其本籍に歸らしむる事等につき現に盡力せられつゝありとの事見えたる由。尙ほ矢島會頭には七月丹後國に支部を開かれし事。京都支部にては接待所を設立し、傳道會と協同して運動する由。東京にての演說會は各支部聯合して開く事もし能はざる時は他の演說會に出席する事に決したり。尙ほ本部事務所新築の事、其他のため會員一致協力して進みたきものなりと述べられ三時過散會せり。新入者一名。

東京 麴町

十月十一日（月）午後二時より事務所に於て例會を開く、矢島會長の司會にて守屋東子氏より「ほり出し物」バザーの說明ありたる後東京各支部聯合委員會へ出席されたる川崎まさ子氏よりこの度京都支部の御大典に關する接待所設置の費用につき當支部は金十圓を負擔する事に決し、尙ほ演說會は廓清會及靑年會と合併し、東京各支部聯合して開催する事となりたり

との報告あり、次に左の事を議決す。

一、各會員より毎月會費の外に大會費として一年に一回五錢以上を徵集したるも本年以後は義務金及大會費として十五錢を集むる事。

一、奥山有志子氏御病氣の爲書記及維持費會計を辭されしを以て、市橋しづ子氏を書記に願ふ事。

一、維持費會計を樋口ろく子氏に願ふ事につきては其交涉を藤井かう氏に願ふ事。

一、東京聯合矯風會の委員として加藤咲子氏を願ふ事。

一、事務所敷地に寄附する金子其他の入費に當つるため來る廿三日(土)神田青年會館にて晝夜二回活動寫眞「噫無情」を開催する事につき委員長川崎まさ子氏より豫算其他の報告あり委員として左の諸氏を選定し、切符配布に盡力せられん事を述べらる。

川崎まさ、岩村やす、加藤咲、佐相うの、太田せつ、板倉うめ、市橋しづ、津田まり、太田とし、外に缺席せし左の諸氏に委員を依賴し、同時に切符を送る。

平野喜代、辻たか、山室ひな、上野のせ、樋口ろく、森本ぬい、吉川いく、岡林たれを、金富きの、竹上まさ(書記代理藤井かう)

京都同志社女學校

九月十八日午後一時同志社女學校に於て例會を開く。杉田姉司會、通信部の報告、各科の報告暑中休暇中二十一枚の禁酒禁煙通信勸め及び風俗に關する書物等配付す。杉田姉の雜報告。彦根青年部の出來し事。人數少くして獨立の力なきため同志社青年部の支部となす事。本部土地購入の內金二拾圓を守屋先生の手を通じ本部におさめし事。杉本部長の御盡力にて青年部の優勝旗の出來し事。富森京都支部長御大典紀念寄付につき委はしき說明あり。議事。議題。いかにせば彦根青年部の發達をはかり得るや。矯風會員としての夏期休暇中の感想にうつる。うちとけて各々感じをのべ、樂しき會を二時三十分に矯風會祝禱を以て閉づ來會者六十餘名。

同日三時數名の姉妹と共に矯風會の花園に咲ける花をたづさへ病める貧民を健康會に訪ふ。別項に記事掲載。

十月十日午後一時三十分同志社女學校に於て例會を開く、岩井姉司會、讃美歌、聖書祈禱書記の報告前會記事朗讀、支部長今度久布白姉の矯風會幹事とおなりくだされし事及御大典紀念金五圓をあつめし事。婦人新報の朗讀。つぎに各科の報告にうつる。花の科健康會を訪ふ、任事部、任事目を花の日となし、菊花を造る。文學科、御大典事業とし禁酒大演說會を催し、廣く部下の諸氏を招待し、大々的に行はんとするの計畫中。議事議題、彦根支部に應援を送るの可否。何人が適當なるや。御大典及文學科大會のため祈禱會をするの可否。つぎに研究問題にうつる各感じをのべ二時三十分矯風會祝禱をもつて閉會。來會者五十一名(同志社青年書記)

編輯室より

エー、エム

○忙しいといふ言葉は聞いた丈でも元氣があります。此處の昨今は此言葉が一番よく總てを表はして居ります。發送する印刷物は次から〳〵と來ます。集會の通知狀は不堪あるやうに思ふ位、電話は引つきりなしにチリン〳〵と「こんなでは電話掛がいりますね―」とは來訪客の御挨拶。

○四月に開會した大會に決議した決議文の實行さるゝや否やといふ其御大典の月を前にした本部も支部も實に活氣に滿ちた報告で感謝して居ります。藤井姉の助手に此月から板倉梅子姉が加はられ事務所は一層賑やかです山川まし子姉が夜學の擔任になられ熱心に敎授されて居ります。

○杉本姉は上州一巡に支部の姉妹等は充分滿足感喜された事でせう「近頃は演說屋になりました！」と豐富な活題に聽衆を引きつけらるゝ同姉の樣子をいつも想像し其成功を祈つてゐます、此月の下旬にはまた靜岡に應援さるゝ事に決定してゐます、祈健康と成功とを

○麴町支部の川崎姉初め會員は熱心に活動寫眞開催に盡力され爲に此室は大賑、掘り出し物バザー開催の爲、一週間許りは朝九時より夜は十一時すぎまで準備の爲に忙殺、然し老會頭はいつも同じやうに朝も早く夜もふくるまで我等と共に働かるゝに勵まされてゐます。

○京都市に設立した博覽會場前の接待所は立派に出來上りました、いよ〳〵十一月三日に開場式を擧げ接待につとめる事になりました、陳列棚の標本やまた祕圖は京都醫科大學より借用を許可されたものです、有名な獨乙のピール町といふミユンヘン人の酒害にかゝつた心臟の實物もあります。

○協同記念傳道館と一致して働く此接待所の爲に祈りまた入洛の折は働きを御手傳下さるやう願ます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

九州部會は十月二十六七の兩日鹿兒島市に開催、大阪支部長林姉と本部代表として守屋姉とが出張の事になつて居ります。九州支部會を開催されてより本年は三年、帝都に遠き筑紫全道に此會のある事は此上もなき幸福。

○米國沿岸同胞の代表者として　今上陛下に聖書獻上の爲來朝された、ストーヂ博士は會頭の舊知、一日特に千駄ケ谷の一小教會でお話がありました、茲の牧師が嘗て在米中博士の日本語教師であつた爲に多忙な博士は時間をさいて其舊友の働きを助けられたのでありました。

○御大典を奉祝して　皇后陛下へ我國婦人信徒より奉る聖書は非常に立派なものが出來上つたと聞きましたストーヂ博士の獻上聖書は英字で御座いますといふ事ですから此日本字の聖書と揃ふて誠によき獻上品となると思ます、願はくは陛下が此書を繙き御讀解あるやうと唯それのみが我等の祈であります。

御夫人令嬢方
ミシン裁縫と
ミシン刺繍の
御學習の便と
ミシン購買の
便利を迅速に御取
計申すために
シンガーミシン會社は
芝區車町六十八番地に
芝シンガー裁縫院を
新設し。「目下御學習
御購買之方とを募集中」
ミシン御購買御希望の方
へは。「御申込次第一週間教師
とミシンとを無料」にて市
の內外を不問試用のために供す
出張教授にも應ず
規則書とミシン型錄無料進呈

院長診察月、水、木、金、午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地(市ケ谷見附內)
電、番六二番
東洋內科醫院
院長　醫學士　高田畊安
電話ちがさき二番
南湖院
相州茅ケ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(明治四十五年六月廿五日第三種郵便物認可) 婦人新報第二百二十號 (大正四年十月廿八日發行 毎月一回發行)

ライオン煉歯磨

旅行には是非共必要！

ライオン歯磨

ライオン水歯磨

食後寝前には不可缺！

本誌定價一部金六錢